

「かこいこみか？むすびつきか？運動会の昼食は？」 (201号 1992. 1)

各学校とも、運動会・遠足などの行事は終わり、静かな日々なのではないでしょうか。その運動会の昼食について、新聞・テレビニュースなどで報道され、話題になっていましたが、みなさんが、みなさんの学校はどうお考えでしょうか。

親子べつべつ給食・お弁当校

- ・運動会は学習発表の場。
- ・お弁当持ってこれない子がかわいそう。
- ・親が来れない家庭もあり、さびしがる。
- ・校門の前に早くから並んだり、場所を取りあいなどして、いざこざが起きやすい。
- ・あとの掃除が大変。
- ・子どもがおやつを食べ過ぎる。

親子一緒お弁当校

- ・学校行事あるとともに、地域の楽しみの場。
- ・親子・地域のふれあいの場。
- ・参加できない家庭を地域で支える。
- ・地域のセンターとして、子どもをめぐる親のつながりが作られる。
- ・親の姿勢も変わってくる。
- ・観客が増える。
- ・PTAと協力しゴミを出さない運動を進める。

今、薄れていると言われる地域の教育力を高めるためにも、地域の結び付きをより深めるためにも、親子で地域で食べるよい機会ですから、子どもと一緒に、近所・家庭がひざを並べて、話しながら食べてみてはどうでしょうか。もちろん、教師が子どもの状況をしっかりつかみ、フォローすることも忘れずに。そして、どんどん教師の方から、地域へ入っていくべきではないでしょうか。

